

1	運営管理	一人一人の子どもの人権と成長を大切にし、保護者との信頼関係を深めました。専門的な研修会に参加し、職員の資質、保育の質の向上に努めました。定期的な職員会議と園内研修を実施し、職員間の連携の強化と情報の共有を徹底しました。保育所での子どもたちの様子をドキュメンテーションにして保護者の皆様に見ていただきました。
2	守秘義務	保護者や子どものプライバシーの保護、保育業務で知り得た情報や、入所時の個人情報などの守秘義務について全職員に周知し、徹底を行いました。また、保護者にも個人情報の保護を呼びかけました。
3	安全 危機管理	全職員が常に危機管理意識を持ち、保育を行いました。施設内外の安全点検を毎日行い、危険箇所には視覚情報としてコーンを設置し、事故防止対策を行いました。火災、地震、風水害等の防災訓練を毎月1～2回実施しました。不審者対応訓練と交通安全教室は飯塚警察署に依頼し、専門的な指導を受けました。0歳児は午睡時の体の向きや体動をセンサーと人とのダブルチェックで確認、記録しました。駐車場の安全な利用の仕方について保護者の皆様に周知し、協力していただきました。
4	保育環境	子どもたちが落ち着いて健やかに生活できるように、環境を整えました。好きな遊びを子どもたちが選択・決定し、十分に楽しめるよう、室内に仕切りを設置し、自分で選んだ遊びを自由に行えるよう玩具を準備しました。温度、湿度、換気、採光等の環境を適切な状態に保持し、集中し
5	健康 衛生管理	手洗いや給食・おやつ前の手指消毒など、年齢に応じた方法で感染の予防に努めました。また、玩具や教室内の消毒などの対策を行いました。感染症発症時は掲示板や貼りだして発信し、周知しました。年に2回の内科・歯科検診、尿検査・糞虫検査を実施し、子どもたちの健康状態を把握しました。
6	保育内容	一人一人に応じた生活、遊び、時間を大切にする保育に努めました。子どもたちが安心感を持って活動できるよう視覚指示を取り入れ、一つ一つの動作に擬音語などの言葉をつけ、分かりやすい保育を行いました。子どもの思いを受け止めると共に、思いやりや社会性が育まれるように寄り添いながら、丁寧な保育を行いました。
7	食育	菜園活動を通して、食材への関心や、食べる意欲を育てました。年長児はクッキングを実施し、自分たちで作ったカレーを美味しくいただきました。庄内生活体験学校で掘らせていただいたさつま芋を石焼き芋にさせていただきました。もちつきでは伝統的な行事について知ることが出来ま
8	子育て支援	保護者との対話を大切にし、家庭における子育ての悩みを共有し、育児相談やケースに応じた援助を行い、子育てにかかわる情報を提供しました。
9	地域交流	4年ぶりにつばき苑さんとの交流会を行い、ゲームをしたり出し物を見せ合ったりすることができました。また、飯塚文化連盟総合文化祭へ5歳児の作品を出品したり、庄内生活体験学校へ自然体験に行ったりすることが出来ました。(年2回)
10	苦情報告	保護者からのご意見・ご要望を真摯に受け止め対応をおこないました。対応について職員会議を行い、全職員へ周知し解決のため取り組み改善を行いました。

外部評価

- ・職員の資質や保育の質の向上に向けた取り組みが行われ、保育環境を整備し援助を行っている点は評価できる。園内研修や会議で職員間の情報共有をし、保育所運営に努めていたことは評価できる。
- ・子どもの人権を尊重した保育について職員への指導もされている様子が分かり、工夫された保育環境となっていた。
- ・全園共通の感覚統合リミックも実施しているが、視覚カードについて、さらに徹底して取り組むことを望む。職員間の周知を図り、解決に向けた話し合いも行われていた。園で起きた案件についてその都度職員間に周知を図り、解決に向けた話し合いも行われていた。子どもの発達の援助である視覚カードが置かれていない部屋もあったので、子どもが安心して生活できる環境の整備に更に努めてほしい。視覚カードも日常的に活用し、生活習慣が身につく環境を整えてほしい。
- ・全体的な計画に基づく保育における自己評価が低い保育士への対応が望まれる。

第三者委員(松岡えりこ・高崎久代・城石里恵)